

自己管理できる力を育てる保健室

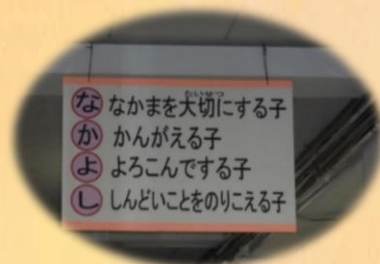


校門前には大きな花時計があり、季節の花々の彩りにほっと心が和みます。

安朱小学校は山科区にある児童数 224名、12 学級の学校です。

学校教育目標は、
「育てよう 子どもの思い 思いやり
～自ら学び 心豊かに 未来を創造する子～」

学校のすぐそばに山や川があり、自然豊かで静かな環境のもと、落ち着いて学ぶ子どもたちの様子がみられます。



児童と一緒に作る掲示物



児童保健委員会で作成した掲示物
見る力を鍛えるために顔を動かさず、目だけで数字を探します。毎日挑戦する子どもの姿があります。

毎月の保健目標にあわせた掲示物を作成し、保健室前に掲示しています。児童保健委員会の活動で、子どもたちが掲示物を作成することもあります。自分たちで作った掲示物は、より親しみを感じることができ、みんな関心をもって見えています。



感染予防に配慮した保健指導

以前は保健室で身体計測の際に保健指導を実施していました。しかし、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、保健室での集団指導は感染のリスクや感染に対する不安など、様々な影響が心配されたため、現在は、養護教諭が教室に出向き、計測前に保健指導を行い、身体計測は教室の前で実施しています。

教室で指導するためプレゼンテーション資料を用いて実施することが多いです。

プレゼンテーション資料だけではイメージがわきにくい時は、他にも教材を用いて子どもたちの興味や関心を高める工夫をしています。



自分で手当てができる力を育てるために

保健室に来た子どもには、けがやからだの様子など『どうしたのか』をしっかり自分の言葉で説明できるよう工夫して関わっています。また、からだや生活の状態、自身の気持ちを振り返り、『どうしたいのか』自分で決めることを大切にしています。けがの手当ては、子ども自身と一緒に行い、処置後の経過観察や手当ての方法なども含めて指導します。

落ち着いた環境で学校生活を送れているおかげか、来室する児童はそれほど多くありません。そのため、一人一人に丁寧に関わることができています。



すり傷はきちんと水道水で洗ってから保健室に来る子どもが多いです。



保健室の中の様子から



←入口からはスッキリと整理整頓された室内の様子が見えます。



性に関する指導に使える資料等も整理して保管しています。

授業時に担任の先生に活用してもらっています。



←からだと骨のタペストリーは、学校医の先生からの贈り物です。

